

『アカデミック・ジャパニーズ・ジャーナル（AJ ジャーナル）』
投稿規定 第13号以降

2020年12月改正

アカデック・ジャパニーズ・グループ AJ ジャーナル（ウェブジャーナル）編集委員会

1. 投稿資格

共著者も含めて全員がアカデミック・ジャパニーズ・グループ研究会の会員でなければならない。ただし、編集委員会が特に依頼した場合はこの限りではない。

2. 使用言語

投稿原稿は原則として日本語または英語で執筆する。

3. 内容区分

①実践報告、②調査報告、③書評、④短信のいずれかとし、それを明記のうえ投稿すること。以下の要件を満たし、未発表のものに限る。

全区分に共通の要件：

- ・アカデミック・ジャパニーズおよび関連領域の研究・教育に資するもの
- ・文章の目的・主旨・根拠が明確かつ論理的に示されているもの
- ・表現・用字用語・書式が適切であるもの
- ・個人情報の保護に配慮されているもの

各投稿区分の要件：

- ①実践報告：当該分野の実践の意図と内容が、実践者間で共有可能な形で、具体的かつわかりやすく示されているもの
- ②調査報告：当該分野の現状分析、文献レビュー、意識調査等、明確な目的と方法のもとに行われた調査の成果が、妥当な分析を経た上でわかりやすく示されているもの
- ③書評：当該分野の研究にとって価値ある文献に関する妥当な書評
- ④短信：当該分野の研究・教育にとって価値ある情報に関する報告（授業案、工夫、萌芽的なアイデア、AJに関する所感・随想等）

4. 用紙・ページ設定・分量

文書はA4サイズとする。1ページは、40字×40行とする（詳細は『原稿サンプル・ファイル』参照）。各投稿区分の分量は、図表や資料も含め、上記設定において下記の字数におさめること。ただし、編集委員会の容認や指示がある場合は、この分量制約に拘束されない。

- ①実践報告、②調査報告、③書評：8頁以内（12,800字以内）
- ④短信：4頁以内（6,400字以内）

5. アドバイス体制

各投稿区分については、下記の観点から、必要に応じて編集委員等によってアドバイスを行う。

1. 位置づけの妥当性 : 投稿区分③について
2. 有意義・適切な課題 : 投稿区分①～③について
3. 方法の妥当性 : 投稿区分②について
4. 内容・結果の報告価値 : 投稿区分①～③について
5. 分析・考察の妥当性 : 投稿区分①～②について
6. 実践利用に十分な記述 : 投稿区分①について

ただし、短信については原稿中の表記やレイアウト等の形式的な誤りのみ指摘する。
また、投稿原稿に関しては、内容区分を変更した上での修正を編集委員から依頼する場合、および掲載不可となる場合もある。アドバイスを受けて最終稿を提出する際に、どこをどのように修正したのかを明記した『説明書』を添えて提出すること。

6. 投稿締切

ホームページおよび会員メーリングリストにおいて締切日を周知する。

7. 投稿先

投稿原稿は、該当する号の編集長にメール添付によって送付する。アドレス等はホームページおよび会員メーリングリストにおいて周知する。

8. 投稿原稿作成上の注意

8.1 文書作成ソフト

- ・文書作成ソフトは、Word か、または Word と互換性のあるソフトで作成すること。後者の場合は、変換した Word ファイルを提出すること。
- ・投稿原稿については、Word ファイルに加えて、PDF ファイルも提出すること。

8.2 箇条書き

文頭の番号、点、文字などは、オートコレクト機能を使用せずに直接入力すること。

8.3 図表

- ・図表は文書の中に入れること。
- ・図はイメージデータが望ましい。また、表は Word の罫線を使って作成することが望ましい。

8.4 注と参考文献

注と参考文献・引用文献は、後ろにまとめる。注は本文中に上付添字として示し、Word の引用、脚注機能は使用しないこと。

8.5 連絡先ファイル

原稿タイトル、投稿区分、著者氏名（よみがな）、所属、連絡先（住所・電話・メールアドレス）を記したファイルを、投稿原稿とともに提出すること（A4 縦・書式は自由）。

8.6 投稿原稿書式サンプル

タイトル、名前、要旨、章節立て、注、参考文献の書き方等については、『投稿原稿書式サンプル』に倣うこと（投稿原稿書式サンプルに上書きして原稿を作成すること）。

8.7 投稿原稿チェックリスト

各項目に不備がないかを確認し、投稿原稿とともに提出すること。

9. 投稿の際の提出物（以下の4つのファイル）

- ・投稿原稿ファイル（論文タイトルをファイル名とすること・長い場合は特徴的部分を抜粋）（WordとPDFの2形式で提出）
- ・連絡先ファイル（『AJJ投稿区分本人氏名』をファイル名とすること）
- ・投稿原稿チェックリスト（『チェックリスト本人氏名』をファイル名とすること）

10. 投稿の原稿の著作権

- ・本ジャーナルに掲載決定された原稿の著作権は、アカデミック・ジャパニーズ・グループ研究会に帰属する。
- ・掲載後、リポジトリ等における著者自身による原稿の利用に際して本研究会の許諾は必要ない。ただし、利用の際には出典（掲載誌名、巻号ページ、出版年）を記載しなければならない。

AJジャーナル投稿区分

区分	要件 全区分に共通の要件： ・アカデミック・ジャパニーズおよび関連領域の研究・教育に資するもの ・文章の目的・主旨・根拠が明確かつ論理的に示されているもの ・表現・用字用語・書式が適切であるもの ・個人情報の保護に配慮されているもの ・著作権の保護に配慮されているもの	アドバイス観点					上限
		位置づけの妥当性	有意義・適切な課題	方法の妥当性	内容・結果の報告価値	分析・考察の妥当性	実践利用に十分な記述
① 実践報告	当該分野の実践の意図と内容が、実践者間で共有可能な形で、具体的かつ、わかりやすく示されているもの		○		○	○	1頁はA4サイズ、40字×40行とする
② 調査報告	当該分野の現状分析、文献レビュー、意識調査等、明確な目的と方法のもとに行われた調査の成果が、妥当な分析を経た上でわかりやすく示されているもの		○	○	○	○	8頁以内 (12,800字以内)
③ 書評	当該分野の研究にとって価値ある文献に関する妥当な書評	○	○		○		
④ 短信	当該分野の研究・教育にとって価値ある情報に関する報告（授業案、工夫、萌芽的なアイデア、AJに関する所感・随想等）						4頁以内 (6,400字以内)